

一般社団法人日本呼吸療法医学会
2020 年度（第 43 期）第 2 回理事会 議事録

日 時：2021 年 2 月 4 日（木）14：00～16：00

場 所：WEB 会議形式での開催

出席者：藤野裕士（理事長）、今中秀光、尾崎孝平、志馬伸朗、竹田晋浩、

陳 和夫、西田 修、大塚将秀、讃井将満、近藤康博、

内田寛治、神津 玲、茂呂悦子、山本信章（各理事）

川前金幸、橋本 悟（監事）

[敬称略]

陪 席：山崎由華、小笠原聡（事務局）

【開 会】（藤野理事長）

- ・理事会開催に必要な理事の過半数の出席があることが報告され開会が宣言された。

I. 報告事項

1. 前回理事会の確認・承認（藤野理事長）

- ・前回議事録は、原案通り承認された。

2. 持ち回り理事会（審議 1 件、連絡 3 件）決定事項の承認（藤野理事長）

- ・審議 1 件の決定事項を承認し、連絡事項 3 件を確認した。

3. 理事長報告（藤野理事長）

1) 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）関連報告

- ・COVID-19 関連の内部対応 2 件、質問 7 件、取材 1 件、引用転載 3 件について、理事長から報告があった。
- ・建設的意見箱に投書があった「コロナ撲滅対策アイデア：重症者用密封ミニ四方透明ユニット（処置ベッドサイズ）」案については、賛助会員に紹介することとした。

2) その他の報告

- ・2022 年度診療報酬改訂に関して、日本集中治療医学会から依頼があり、遠隔 ICU について共同提案することとなった。

4. 事務局からの報告（大塚理事）

- ・会員動向について、前回理事会から約 3 カ月間で医師が 37 名増加した。次回学術集会のシンポジスト候補者に入会案内をした影響も考えられる。第 42 回学術集会のオンデマンド配信も好評であり、宣伝次第でさらなる入会増が期待できる。
- ・藤野理事長の紹介により、カフベンテック社とフィッシャー&パイクル社の賛助会員入会が決定した。次年度から泉工医科工業社の入会も内定している。学術集会会場で直接案内したことが入会につながり、宣伝の余地が十分にあることが報告された。

5. 学術集会報告・準備状況

1) 第 42 回学術集会報告 (志馬前会長)

2020 年 12 月 20 日 (月)・21 日 (月) 国立京都国際会館

会期後のオンデマンド配信：12 月 28 日 (月)～2021 年 1 月 25 日 (月)

- ・現地開催と会期後のオンデマンド配信を併用した形式で開催されたことが報告された。現地開催に際しては COVID-19 への感染症対策を徹底し、来場者とスタッフの安全を第一に運営を行った。閉会后、参加者からの感染は報告されていない。
- ・講演数は以下のとおり。

①セッション数 合計 125 セッション

指定演題…84 (うち共催セミナー14)

一般演題 (優秀演題+late braking+一般演題口演) …41

②演題数 合計 385 演題 (取り下げ後、368 演題)

指定演題…152 (うち共催セミナー18)

一般演題 (優秀演題+late braking+一般演題口演) …233

- ・参加人数は以下のとおり。

①現地参加者数：620 名 (2 日間)

②オンデマンド含む全参加登録者数：1,512 名 (名誉会員、招待者、協賛企業除く)

- ・現地参加の内訳は医師が多く、会員は 294 名。メディカルスタッフの学術集会参加が困難であったことがうかがえた。
- ・学術集会参加者向けに実施したアンケート結果も報告された。コストの都合上、オンデマンド配信用に撮影したプログラム数は限られており、ライブ配信も行わなかったため、非現地参加者約 900 名にとっては希望の講演をすべて視聴できたわけではなかった。約 1 カ月のオンデマンド配信期間が短いという意見もあった。
- ・表彰については一般演題口演で医師・非医師ごとに最優秀賞・奨励賞を授与し、COVID-19 関連演題についても最優秀賞・奨励賞を授与した。また、学術集会アンケート結果より最高評価講演賞を、オンデマンド配信より最多アクセス講演賞をそれぞれ授与した。
- ・参加費を例年より少し低く設定して参加を促し、一方経費を抑えるため海外演者招聘、歓迎の夕べ、茶菓サービスなどの企画は見送った。
- ・現地では開催に賛同してくれた多数の参加者から、再会を喜ぶ声が聞かれた。

2) 第 43 回学術集会準備状況 (大塚会長)

2021 年 7 月 3 日 (土)・4 日 (日) パシフィコ横浜会議センター

- ・第 42 回学術集会と同様、現地開催とオンデマンド配信の併用形式で開催することが報告された。企業への協賛依頼も進めており、緊急事態宣言等の発令がなければ開催する方向で進める。シンポジウム系のディスカッションを多数用意し、教育講演は医師向け・メディカルスタッフ向けそれぞれをセミナー形式で実施するなど、多職種に満足いただける企画を検討している。
- ・関連するセッションを連続して配置し、同会場で濃密な内容を提供する。
- ・教育セミナーは昼時のランチのほか、アフタヌーン、イブニングも検討する。

- ・現時点での問題点として、一般演題の集まりが悪いことが挙げられる。日本集中治療医学会学術集会の終了を待ち、締切を延長して受け付けることとした。
 - ・企業からの機器展示にかかる協賛申込も、現時点では例年より非常に少ない。
 - ・抄録アプリは前回同様第 43 回学術集会でも使わないこととした。
- 3) 第 44 回学術集会準備状況（讃井副会長）
- 2022 年 8 月 6 日（土）・7 日（日）パシフィコ横浜
- ・上記の予定であることが報告された。
- 4) 第 45 回学術集会準備状況（近藤副会長）
- 2023 年 8 月 5 日（土）・6 日（日）ウインクあいち（予定）
- ・上記の予定であることが報告された。会場はウインクあいちの申込が 2021 年 8 月からのため、万が一に備え名古屋コンベンションホールを仮予約している。

6. 各委員会報告

- 1) 日本臨床工学技士会会報での人工呼吸器停止事例周知の件（内田理事）
- ・安全対策・危機管理委員会による人工呼吸器停止事例の情報収集について、日本臨床工学技士会だよりに周知案内を掲載いただいたことが報告された。
- 2) 「人工呼吸器と組み合わせて使用する製品に関する自主点検等について」の
各都道府県衛生主管部（局）長宛通知の件（藤野理事長）
- ・厚生労働省医薬・生活衛生局医薬安全対策課ご担当より、「ベンチレータ V60」（フィリップス社製）と閉鎖式サクシジョンユニット「エコ キャス」（コヴィディエン社製）の組み合わせにより、回路が外れた際に警報が発生しない事例が発生したため医療機関への周知や今後の対応などについて本会に相談があったことが報告された。藤野裕士理事長、中根正樹安全対策・危機管理委員長が WEB 面談で対応し、それをふまえて各都道府県衛生主管部（局）長宛通知が発出され、2021 年 1 月 7 日にホームページにて周知を行った。
- 3) 編集委員会；DOI 取得について（今中理事）
- ・前回の理事会で、機関誌「人工呼吸」の DOI（Digital Object Identifier、WEB 上の電子化コンテンツに付与される国際的識別子）取得申請が承認され、日本唯一の DOI 登録機関である Japan Link Center（JaLC；DOI 財団認定機関）が認定した科学技術振興機構（JST）に無料で申請を行ったことが報告された。
- 4) COVID-19 対応などの ECMO プロジェクト委員会報告（竹田理事）
- ・COVID-19 感染拡大を受け、ECMO プロジェクト委員会の対応や、厚生労働省からの委託を受けて日本 COVID-19 対策 ECMOnet が実施した人工呼吸/ECMO 講習会の開催状況などが報告された。
 - ・人工呼吸/ECMO 講習会は 2020 年 4～12 月に全国 47 都道府県で各 1 回以上開催され、300 施設以上の医療従事者が受講した。
 - ・ゲティング社が全国 6 施設・30 症例以上で Cardiohelp®の安全性の検証を行い、ECMO 回路における保険償還上の使用時間上限 6 時間を「7 日以上」に延長する申請を行った。

- ・ AVALON ダブルルーメンカテーテル（ゲティンゲ社）の保険償還価格見直しの要望書（不採算品目要望書）を4学会合同で厚生労働省へ提出し、申請が完了した。
 - ・ 日本救急医学会に ECMO ネットワーク特別委員会が新設され（2020 年 11 月～）委員長に小倉崇以医師が就任した。日本救急医学会・日本集中治療医学会・日本呼吸療法医学会で連携し、日本の ECMO 体制の向上を目指していく。
- 5) 『ECMO・PCPS バイブル』発行の件（竹田理事・藤野理事長）
- ・ 2018 年 8 月に ECMO プロジェクト委員会において制作を決定した本書が、2021 年 2 月に以下の概要で発行されたことが報告された。
- | | |
|-------|------------------------------|
| 書 名 | ECMO・PCPS バイブル |
| 編 集 | 一般社団法人日本呼吸療法医学会・日本経皮的心肺補助研究会 |
| 発 行 | 株式会社メディカ出版 |
| 判 型 等 | B5 判、376 頁、2 色刷（広告部分は 4 色刷） |
| 価格部数 | 10,000 円＋税、第 1 版初刷 2,400 部 |
- ・ 日本 COVID-19 対策 ECMOnet に以下のとおり買取りいただいた。
- | | |
|-------|---------------------------|
| 買取部数 | 2,027 冊 |
| 送 付 先 | 322 施設（ECMO チーム等養成研修受講施設） |
| 発 送 | 2021 年 1 月未完了 |
- ・ 原稿料・広告料は以下のとおり 2 学会に支払われる。
- | | |
|-------|-------------------------------------|
| 原 稿 料 | 500 万円（2 学会で等分〈ECMOnet 買取 2,027 部〉） |
| 広 告 料 | 75 万円（2 学会で等分〈技術広告 2 社・広告 1 社〉） |
| 印 税 | 残り 273 部は、実売数に応じて印税 10%（電子書籍は 15%） |
- 6) 学術集会過去映像の件（西田委員長）
- ・ 会員専用ページに掲載している「過去の学術集会 講演ビデオ」ページにおいて、第 37 回（2015 年、京都）と第 41 回（2019 年、大阪）分が Adobe Flash Player のサポート・更新終了にともない閲覧できなくなることが報告された。最終的には閲覧できなくなった時点で掲載終了とすることを確認した。
 - ・ 一方、第 42 回学術集会の映像データについては準備が整い次第掲載する。
- 7) 看護関連の認定資格に関するアナウンスについて（茂呂理事）
- ・ 本会主催の学術集会ならびにセミナーへの参加・受講が、看護関連の認定要件に該当するかについて日本看護協会認定部に問い合わせたところ、明言できないとの回答であった。3 学会合同呼吸療法認定士については認定・更新時に点数が付くため、引き続き広報していくことが報告された。
- 8) 第 50 回日本呼吸療法医学会セミナーオンライン実施について（大塚理事）
- ・ 2021 年 5 月末に標記セミナーを以下の仕様でオンライン開催することが報告された。
- | | |
|-------|----------------------------------|
| 申込受付 | ： 事前入金 |
| テキスト | ： 印刷製本して配送（CD 付録は廃止、サイト上には掲載しない） |
| 講義動画 | ： 各講師が作成 |
| 視聴方法 | ： プログラム順に全動画視聴必須 |
| テ ス ト | ： 全動画視聴完了後テスト画面へ誘導（合格するまで再トライ） |

修了証：テスト合格をもって修了証ダウンロード可

- ・システム委託先は、2社相見積もりの結果 USCI 社に決定した。委託料はセミナー開催1回あたり 445,000 円＋初期費用（459,000 円）で、初期投資を要するが数年継続すれば他社より割安となる。
- ・参加費は、会場費・旅費などの経費がなくなるため、従来の半額程度の 6,000～7,000 円で検討している。定員は 500 名程度が受講できる仕組みになっている。

9) ARDS 診療ガイドライン 2021 日本語版発行について（讃井委員長）

：日本呼吸器学会・日本集中治療医学会・日本呼吸療法医学会 3 学会合同事業

- ・2021 年 3 月・4 月に開催する成人・小児の各パネル会議で推奨を決定し、2021 年度中の発行を目指していることが報告された。出版物の概要は以下のとおり。

PDF 日本語本編 → 真興交易社より出版、日本集中治療医学会 HP に掲載

学会雑誌論文（日本語）→ 各学会誌に 2021 年度中に掲載

学会雑誌論文（英語）→ 各学会誌に 2021 年度中に掲載

ダイジェスト版書籍 → 検討

非医療従事者向けのガイダンス → PDF で制作予定

- ・本会の『人工呼吸』には日本語版を第 39 巻第 1 号（2022 年 5 月）に掲載の予定。和文誌のため英語版の掲載は割愛する。

6. その他

1) 今後の理事会日時；第 3 回 5 月 13 日（木）14:00～16:30（WEB）

- ・第 43 回学術集会時も、前日に理事会・総会は開催しないため、7 月下旬に WEB もしくは持ち回りで第 4 回理事会を開催し、続いて 8 月中に 2021 年定時社員総会を書面決議方式で開催する方針を確認した。

II. 審議事項

1. 次期委員会人事について（大塚理事）

- ・各委員会から提出された次期委員候補について、すべて承認された。

2. 代議員新規（追加）申請について（陳 理事・尾崎理事・藤野理事長）

1) 平井豊博 医師会員

推薦：陳 和夫理事、内山昭則代議員（専門医委員長）

事由：京都大学教授として研修施設主担当と代議員職への後任推薦のため

- ・今期で任期満了を迎える陳 理事の後任として代議員就任を承認し、略歴・呼吸器内科領域での実績を鑑み、呼吸療法専門医についても認定した。

2) 寺澤大祐 医師会員

推薦：尾崎孝平理事、石川悠加代議員（小児在宅人工呼吸検討委員長）

事由：小児在宅人工呼吸検討委員長への推薦のため

- ・上記委員長への就任のため、代議員就任を承認した。呼吸療法専門医については次年度の筆記試験を受験いただくよう依頼することとした。

3. 人工呼吸器および ECMO 装置の保有状況調査について（山本理事） 53

- ・持ち回り理事会 42-20 で承認された COVID-19 に対する各施設の保有人工呼吸器・ECMO 装置等の台数・購入に関する調査について、「調査依頼状」・「調査票」案が提出され、承認された。
- ・同書類をもって日本集中治療医学会、日本臨床工学技士会で承認を得られ次第、調査を開始する予定である。

4. 各委員会からの審議事項

1) 小児在宅人工呼吸検討委員会報告・審議事項（尾崎理事）

- ・故渡部委員長の後任として石川委員が委員長となり、『小児在宅人工呼吸療法マニュアル第 2 版』制作時には、寺澤委員を委員長とする体制で進めることが報告された。
- ・第 2 版の制作概要について、以下のとおり委員会からの提案があった。

改訂：2017 年の第 1 版発行時から、とくに行政対応にかかる内容が大きく変更されており、改訂を要する。

委託：校正・編集・印刷などの出版工程は、前回の委員会主導方法でなく適切な出版社に委託する。よって税込 3,800 円とした第 1 版の価格設定は困難であり、紙の書籍に WEB 動画配信や QR コード等電子媒体も併用し、予算と本体価格が見合うよう検討する。

発行：2022 年度中を目途に発行を目指す。

- ・第 2 版の制作・発行については予算案を提出し、内容も含めて理事会の承認を得ることを条件とした。

2) 専門医委員会（藤野理事長）

①呼吸療法専門医テキスト

- ・2021 年度版の発行に向けて、一部項目を追加し 2021 年 5 月末を締切として執筆・修正依頼を行うことが報告された。

②日本 COVID-19 対策 ECMOnet による人工呼吸セミナーへの教材提供

- ・呼吸療法専門医テキストを上記セミナー教材として提供し、使用料として 2,135 名（受講者）×11,000 円（テキスト代）分の 23,485,000 円が 2021 年 1 月末に ECMOnet より入金された。

③代議員枠の呼吸療法専門医資格付与

- ・2020～2022 年代議員に新規で就任した 16 名のうち、呼吸療法専門医資格のない以下 6 名より申請があり、審査料・登録料の入金をもって認定することとした。

阿部 信二 Dr 東京医科大学

清水 敬樹 Dr 東京都立多摩総合医療センター

庄野 敦子 Dr 昭和大学医学部

鈴木 学 Dr 国立国際医療研究センター

則末 泰博 Dr 東京ベイ・浦安市川医療センター

淵上 竜也 Dr 琉球大学医学部附属病院

3) 社会保険委員会；2022 年度診療報酬改定要望（陳 委員長）

- ・2020 年 12 月 10 日に以下のとおり改定要望を共同提案したことが報告された。

◆未収載

在宅医療機器安全管理指導料（呼吸ケアリハビリテーション学会主提案）

在宅ハイフロー（呼吸器リハビリテーション学会主提案）

小児在宅ハイフロー（小児呼吸器学会主提案）

◆既収載

経皮的血液ガス分圧測定連続測定（呼吸療法医学会主提案）

（呼吸器学会、呼吸ケアリハ学会、睡眠学会共同提案）

特発性肺線維症の急性増悪に対する吸着式血液浄化法（呼吸器学会主提案）

◆基本診療料（A 区分）既収載

呼吸ケアチーム加算（呼吸ケア・リハビリテーション学会主提案）

◆その他

CPAP の適用と遠隔モニタリング

（呼吸器学会主提案、睡眠学会、呼吸ケアリハ学会共同提案）

・上記について、すべて承認された。